製品情報（パノラミス®錠S／パノラミス®錠M／パノラミス®錠L／パノラミス®錠LL／パノラミス®錠XL）

少量のフードと一緒に与えてください。
最大の効果を得るため、少量のフードを与えてから投与するか、少量のフードにまぜて与えてください。

【組成】
一錠中にそれぞれ次の成分を含有。

品　名	スピノサド	ミルベマイシンオキシム
パノラミス錠S	140mg	2.3mg
パノラミス錠M	270mg	4.5mg
パノラミス錠L	560mg	9.3mg
パノラミス錠LL	810mg	13.5mg
パノラミス錠XL	1620mg	27.0mg

【効能及び効果】
犬：犬糸状虫症の予防、ノミ及びマダニの駆除、犬回虫・犬鉤虫及び犬鞭虫の駆除

【用法及び用量】
体重1kgあたりスピノサド30mg及びミルベマイシンオキシム0.5mgを基準量とし、本剤を1錠経口投与（投与前後に少量の食餌を与えること）又は食餌に混ぜて投与する。なお、犬糸状虫症の予防には、毎月１回、１ヵ月間隔で蚊の発生から発生終息1ヵ月後までの間、投与する。体重別には次の投与量による。また、体重54.0kg以上の犬には、体重1kgあたりスピノサド30mg及びミルベマイシンオキシム0.5mgを基準量とし、錠剤を組み合わせて投与すること。

犬の体重範囲（kg）	用　量
2.3kg 以上4.5kg 未満	パノラミス錠S
4.5kg 以上9.0kg 未満	パノラミス錠M
9.0kg 以上18.0kg未満	パノラミス錠L
18.0kg以上27.0kg未満	パノラミス錠LL
27.0kg以上54.0kg未満	パノラミス錠XL
54.0kg以上	適切な錠剤を組み合わせて投与

【使用上の注意】
［一般的注意］
(1) 本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方せん・指示により使用すること。
(2) 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
(3) 本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。
(4) 本剤は、蚊、ノミ又はマダニが発生する時期に投与すること。若しくは犬回虫・犬鉤虫又は犬鞭虫に感染した犬に投与すること。

［使用者に対する注意］
(1) 誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。

［犬に対する注意］
1 制限事項
(1) 本剤の投与前には健康状態について確認し、使用の可否を決めること。
(2) 本剤は14週齢未満の子犬又は体重2.3kg 未満の犬には投与しないこと。
(3) 本剤の投与前に必ず血液検査を行い、ミクロフィラリアがいないことを確認した後、投薬を行うこと。
(4) 犬糸状虫感染犬に本剤を投与する場合は、成虫及びミクロフィラリアを駆除するなど適切な処置を行い、投薬を行うこと。
(5) ミルベマイシンオキシムの試験において、コリー犬及びその系統の犬種は他の犬種に比べ、安全域が狭いことが示されていることから、これらの犬種に対しては、用法・用量を厳密に守ること。

2 副作用
(1) 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
(2) 本剤の投与により嘔吐、下痢、食欲不振又は元気消失がみられることがある。
(3) 本剤に含まれるフレーバー成分又はその他の成分により、個体の体質によっては、まれに一過性の過敏反応（蕁麻疹、顔面の腫脹等）が起こることがある。
(4) ミルベマイシンオキシムを犬糸状虫感染犬に投与した場合、急性犬糸状虫症（大静脈症候群）、歩様異常、元気消失、嘔吐、呼吸速迫又は食欲不振の症状が現れることがある。

3 適用上の注意
(1) 本剤は食餌と共に投与することで最大の効果が得られるため、投与の前後に少量の食餌を与えること。
(2) 本剤の有効成分スピノサドには嘔吐の副作用が知られている。投与の１時間以内に嘔吐した場合は、本剤の効果が担保できない可能性があるため、獣医師の判断により再投与又は他剤の使用を検討すること。
(3) 複数飼育の場合は、再感染を最小限にするため、全頭に投与することが望ましい。
(4) 本剤を反復投与する場合は月1 回を超えないようにすること。
(5) 本剤の繁殖用雄犬に対する安全性評価は実施されていない。
(6) 繁殖用の雌犬には慎重に投与すること。
(7) てんかんの既往症のある犬には慎重に投与すること。素因及び他の因子も含めて因果関係は不明であるが、スピノサド製剤（品名：コンフォティス錠）投薬後にてんかん様発作が認められた報告がある。
(8) 毛包虫症などの治療を目的に、高用量のイベルメクチン（犬用以外の製剤を含む）を投与した犬に、スピノサド製剤（品名：コンフォティス錠）を併用した事例で、重度の副作用の報告がある。
(9) 本剤のマダニに対する駆除効果は1ヵ月間持続しないことがあるため、投与後1ヵ月以内にマダニの再寄生が認められた場合は、獣医師の判断により他剤の使用を検討すること。

［取扱い上の注意］
(1) 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
(2) 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

［保管上の注意］
(1) 小児の手の届かないところに保管すること。
(2) 本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けて保管すること。
(3) 誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。

【貯蔵方法】
室温保存、気密容器

【包装】
錠剤サイズ パノラミス錠S、M、L、LL、XL、それぞれ6錠入りブリスターシート包装

パノラミス®錠についてのお問い合わせ
0120-417-317（月～金 9:00～12:00 13:00～17:00）

Elanco™、パノラミス®：イーライリリー社、その子会社又は 関連会社が保有又はライセンスを行う商標又は登録商標です。

日本イーライリリー株式会社
エランコアニマルヘルス事業部
東京都港区赤坂4-15-1

1501-GPP-0782

Elanco™

ノミ・マダニ 駆除　犬糸状虫症の予防　消化管内寄生虫 駆除

要指示医薬品　動物用医薬品

パノラミス®錠

（スピノサド＋ミルベマイシンオキシム）

犬：犬糸状虫症の予防、ノミ及びマダニの駆除、犬回虫・犬鉤虫及び犬鞭虫の駆除
注意—獣医師等の処方せん・指示により使用すること。

月1錠で3タイプ 6つの寄生虫対策が可能な
ブロードスペクトラムの犬用経口駆除剤

Elanco™

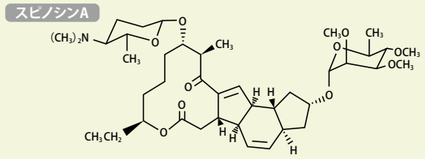
パノラミス®錠

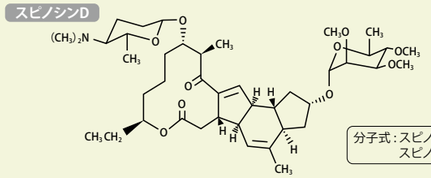
「スピノサド」と「ミルベマイシンオキシム」2剤を配合した ブロードスペクトラムの犬用経口駆除剤です。

スピノサド　ミルベマイシンオキシム

スピノサドについて

スピノサドは、放線菌*Saccharopolyspora spinosa*の発酵により得られる化合物で、マクロライド系化合物に分類されます。





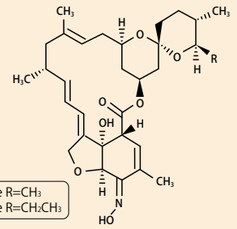
分子式：スピノシンA: $C_{41}H_{65}NO_{10}$
スピノシンD: $C_{42}H_{67}NO_{10}$

スピノサドは、構造の類似したいくつかのファクターの混合物で、主要なファクターとして活性の高いスピノシンAとスピノシンDから成っています。スピノサドは、**スピノシンAを約85%及び、スピノシンDを約15%の比率で含有**しています。
従来の駆除薬とは異なるユニークな作用機序を有するため他系統薬剤との交叉耐性は知られていません。

ミルベマイシンオキシムについて

ミルベマイシンは、放線菌*Streptomyces hygroscopicus subsp aureolacrimosusu*の発酵により得られる化合物で、マクロライド系化合物に分類されます。

ミルベマイシンオキシムは、ミルベマイシンA3オキシムとミルベマイシンA4オキシムの混合物で、両成分の比率は、**ミルベマイシンA3オキシムが20%以下、ミルベマイシンA4オキシムが80%以上**となっています。
ミルベマイシンオキシムには犬糸状虫幼虫殺滅効果・体内移行中の犬糸状虫幼虫の殺滅による成虫寄生予防効果を示すことが知られています。



Milbemycin A3 oxime R=CH_3
Milbemycin A4 oxime R=CH_2CH_3

エランコとスピノサド
Spinosad Story

スピノサドは、米国イーライリリー社によって発見、開発された天然のマクロライド系化合物です。

1982
バージン諸島のラム酒工場跡地から土壌サンプルを採取

1985
培養液から蚊の幼虫に対して殺虫活性をもつことを発見

1988
殺虫活性を産出する菌を*Saccharopolyspora spinosa*と同定

1999
ダウ・アグロサイエンス*がGreen Chemistry Challenge Award受賞

2000
動物薬としてオーストラリアで羊用に発売

2007/11
米国で経口の犬のノミ駆除剤として「コンフォティス®錠」発売

2010/11
日本で「コンフォティス®錠」発売

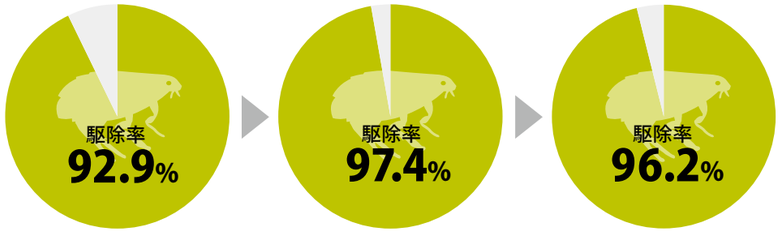
2014/1
ミルベマイシンオキシムを配合した犬用ノミ・マダニ駆除、犬糸状虫症予防、消化管内寄生虫駆除剤「パノラミス®錠」発売

＊ダウケミカル社とイーライリリー社の合弁事業として「ダウエランコ」が設立され、エランコの植物薬部門が移管された後、ダウケミカル社が全事業を買収し「ダウ・アグロサイエンス」となりました。

パノラミス®錠の 高い有効性

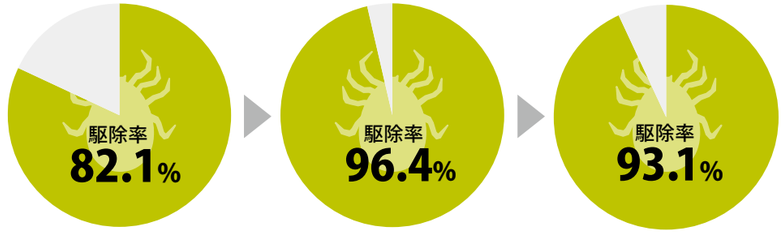
パノラミス®錠投与後3日で90%以上のノミ駆除効果が得られ、その効果は1ヵ月以上持続しました。

【ノミに対する有効性（国内臨床試験）[A]】(n=77)



パノラミス®錠投与後1週までに90%以上のマダニ駆除率が得られ、その効果は1ヵ月以上持続しました。

【マダニに対する有効性（国内臨床試験）[C]】(n=56)



【犬糸状虫に対する有効性（国内臨床試験）[B]】

パノラミス®錠を1ヵ月間隔で投与することにより、すべての症例で犬糸状虫寄生陰性100%の予防効果が得られました。

最終投与後6ヵ月

パノラミス®錠は、犬回虫・犬鉤虫・犬鞭虫に対して高い有効性を示しました。

【消化管内寄生虫に対する有効性（国内・欧州臨床試験）[D]】

A 対象：ノミが自然寄生した犬91頭（被験薬群77頭、対照薬群14頭）
方法：スピノサド・ミルベマイシン配合剤（スピノサドとして30～60mg/kg, ミルベマイシンオキシムとして0.5～1.0mg/kg）を少量の食餌と共に単回投与、または対照薬を単回皮膚滴下し、投与開始時、投与後3～4日、1、2、3、4、6週にノミの寄生数、臨床症状の観察を実施した。

B 対象：前年に犬糸状虫症感染予防が行われている犬または犬糸状虫感染期終了以降に生まれた犬230頭
方法：スピノサド・ミルベマイシン配合剤（スピノサドとして30～60mg/kg,ミルベマイシンオキシムとして0.5～1.0mg/kg）を蚊の発生時期から1ヵ月ごとにその年の12月まで投与し、投与開始時、投与開始4ヵ月後、および最終投与後6ヵ月にミクロフィラリアおよび犬糸状虫抗原検査を実施した。

駆除率（%）＝（ノミの寄生数が０となった症例数/評価症例数）×100

有効率（%）＝（ミクロフィラリア検査および抗原検査で陰性の症例数/評価症例数）×100

C 対象：マダニが自然寄生した犬67頭（被験薬群56頭、対照薬群11頭）
方法：スピノサド・ミルベマイシン配合剤（スピノサドとして30～60mg/kg, ミルベマイシンオキシムとして0.5～1.0mg/kg）を少量の食餌と共に単回投与、または対照薬を単回皮膚滴下し、投与開始時、投与後3～4日、1、2、3、4、6週にマダニの寄生数、臨床症状の観察を実施した。

＊スピノサド・ミルベマイシン配合剤投与群では4種のマダニの寄生が見られ（フタトゲチマダニの寄生症例が最も高頻度で、次いでキチマダニ、ヤマトマダニ、ツリガネチマダニ）、対照薬群ではフタトゲチマダニのみの寄生であった。
駆除率（%）＝（マダニの寄生数が０となった症例数/評価症例数）×100

D 対象：犬回虫、犬鉤虫、犬鞭虫のいずれかの単独または混合寄生が確認された犬（被験薬群：犬回虫83頭、犬鉤虫44頭、犬鞭虫67頭、対照薬群：犬回虫31頭、犬鉤虫24頭、犬鞭虫42頭）
方法：スピノサド・ミルベマイシン配合剤（スピノサドとして30～60mg/kg, ミルベマイシンオキシムとして0.5～1.0mg/kg）を少量の食餌と共に単回投与、または対照薬を単回経口投与し、投与後7～10日に糞便中の虫卵の有無および排泄数を確認した。
有効率（%）＝（虫卵が全く検出されなくなった症例数/評価症例数）×100

＊評価頭数は国内・欧州臨床試験の合計

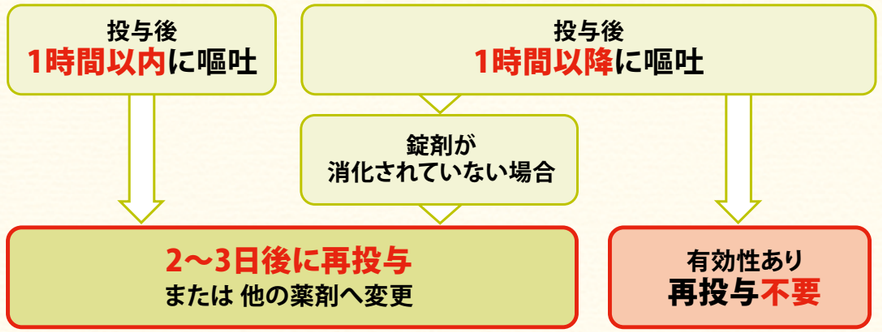
パノラミス®錠ご使用上の
留意点

高用量イベルメクチンとの併用は避けてください。

毛包虫症などの治療を目的に高用量イベルメクチンが投与されている犬に、スピノサド製剤を併用した事例において、イベルメクチンによると考えられる毒性症状が認められたとの報告があります。

- これらのケースでは対症療法により通常24～72時間以内に回復しています。
- パノラミス®錠（スピノサド）の使用は、高用量イベルメクチン治療終了後、1ヵ月以上空けて開始してください。

嘔吐発生時は、以下の対応をお勧めします。



- 嘔吐の主な原因は胃・十二指腸の消化管粘膜刺激受容体への刺激による「末梢性の反射的な嘔吐」と考えられています。
- ほとんどの嘔吐症例については治療を行うことなく発生当日に回復しています。
- 試験では、スピノサドによる嘔吐は初回投与時に最も多くみられ、2回目以降は発生率が低下することが確認されています[1]。

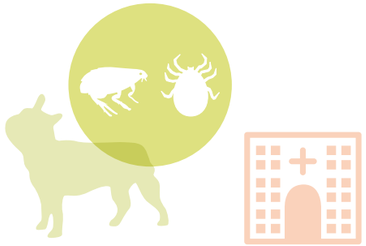
1）米国臨床試験報告書（社内資料）

パノラミス®錠の
メリット

パノラミス®錠

動物病院さまのメリット

- ノミ・マダニの対策率の向上
- 病院経営に貢献
- 来院犬の健康管理の促進



飼い主さまのメリット

- 犬糸状虫症対策と同時に
  消化管内寄生虫やノミ・マダニ対策の実現
- 病院処方による安心感
- 月1回の利便性によるコンプライアンスの向上

パノラミス®錠
採用の理由[2)]

利便性
（1錠で6種類の寄生虫対策）

パノラミス®錠により、毎月1錠で6種類の寄生虫対策が可能です。

経口剤だから

経口剤だからこそのメリットがあります。

皮膚への刺激が少なく、
皮膚の弱い犬も安心

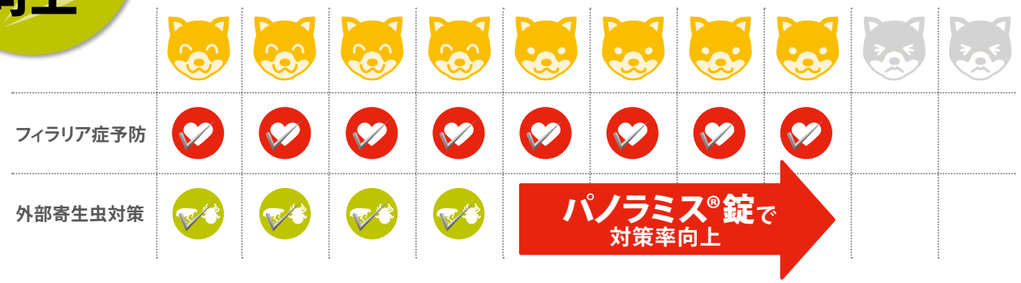
べたつかず、投与後
すぐにスキンシップが可能

いつでも何回でも
シャンプーが可能

ノミ・マダニの対策率向上

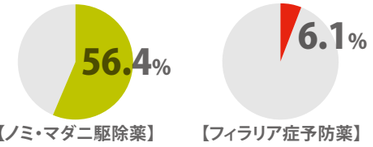
来院した犬の約8割がフィラリア症予防を実施しており、
外部寄生虫対策も行っているのは約4割でした[3)]。

パノラミス®錠を使うと
ノミ・マダニ対策率の
向上も可能です。



要指示医薬品だから

動物病院以外（インターネット、ホームセンターなど）で
購入したことのある飼い主さまの割合[3)]。



パノラミス®錠はフィラリア症予防薬で要指示医薬品なので
**院外購入に流れにくく、
病院処方の安心感を提供できます。**

ノミに対する速効性

**パノラミス®錠は、
投与後4時間で100%の
駆除率が得られます[4)]。**

2）獣医師サイトVetpeerアンケート調査
3）インターネット調査：犬の飼い主対象2013年7月実施 有効回答者数1,030名
4）パノラミス®錠申請資料（Byron L. Veterinary Parasitology 2010）

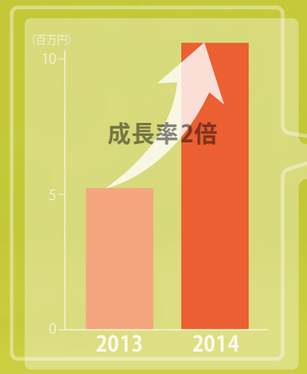
数字が語る
パノラミス®錠

発売後半年で2位に

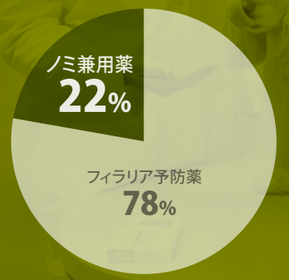
パノラミス®錠は、発売後半年で、
犬フィラリア予防薬市場の
売上2位にまで駆け上がりました[5]。

【製品別売上高(2014年1-6月)】

成長率2倍



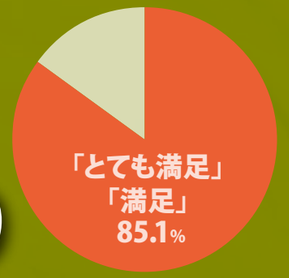
【薬剤タイプ別シェア(2014年1-6月)】



その結果、フィラリア症予防と
ノミ駆除の兼用薬の売上は
前年の2倍にまで膨らんでいます[5]。

85.1%

【獣医師満足度】



パノラミス®錠を使った先生方の満足度です。
85.1%が「とても満足」、「満足」
と回答されました[6]。

5) 富士経済14. 1-6
6) Vetpeer調査